

英語科学習指導案

日時	平成23年11月11日(金) 2校時
会場	2年3組教室(南校舎2階)
生徒	2年3組(男15名 女17名 計32名)
授業者	八ツ役 真司

1 単元名 Unit 6 The Story of Silent Night ・ Multi Plus 3 わたしの町 (NEW HORIZON English Course Book 2 東京書籍)

2 単元について

(1) 学習者観

- ・「聞く」「話す」活動に関して、生徒たちは Show and Tell や My Dream, My Summer Vacation のスピーチを経験してきた。また、Warm Up の帯活動 Mini-Chat に対しても、意欲的に取り組んでおり、ペアやグループでの言語活動に積極的な姿勢の生徒が多い。
- ・「読む」活動に関しては、Reading for Communication を2ページまとめて概要把握する活動を行ってきた。また、パンフレットや新聞記事など authentic な素材の読み取りにも挑戦してきた。
- ・「書く」活動に関しては、上記スピーチ原稿の他に、日記やメール、英字新聞などに取り組んできた。和英辞典を活用しながら、いずれも、ほとんどの生徒が5～10文程度の文章を書くことができていた。しかし、モデル文をやや変えただけのものや、単に事実を並べただけのもの、文と文のつながりがスムーズではないものも散見される。

(2) 学習材観

- ・本単元は、Silent Night の誕生秘話が題材として取り上げられている。登場人物の動揺や不安、あるいは驚きといった心の動きが描かれており、内容の深い理解や朗読に適した教材である。
- ・本単元で扱う There is [are]...は、様子を描写する表現の一つであり、コミュニケーションの幅を広げるという点において、有用な言語材料である。
- ・本単元の最後の活動として「わたしの町」の紹介を設定している。4技能を統合的に活用させた自己表現活動として、まとまりのある文章を書かせる。

(3) 学習指導観

- ・単元のゴールを「わたしの町」の発信活動と捉え、There is [are]...などの新出文型の習得の必然性を意識させながら、input や output を行わせたい。
- ・output での accuracy や grammaticality を高めるために、Warm up の帯活動に intake reading を基盤とした教科書本文の暗唱・暗写を位置づけ、スパイラルに指導していきたい。
- ・本文の読み取りにおいては、スキーマを十分に活性化させながら、必要な情報を短時間で適切に読み取らせたい。一方で、表面的・断片的な読み取りに留まることのないよう、Q&A に難易度の幅を設けたり、心情変化を理解させた上で朗読を取り入れたりしながら指導していきたい。
- ・「わたしの町」の紹介では、写真などを用いてイメージを膨らませ、読み手・聞き手が訪れたいような紹介文になるよう、既習の言語材料の活用や、まとまりのある文の構成を考えさせていきたい。

(4) 研究とのかかわり

- ・Warm up や音読、コミュニケーション活動においてはペアやグループでの活動が基本となるため、4人グループの小集団の隊形を作らせ、「協同的な学びの場」を取り入れていく。
- ・新出文型習熟のための substitution drill や言語活動、英文の概要把握などを「共有の課題」と捉える。また、output となる自己表現活動の中でも、特に、じっくりと考え、個々の表現の幅を広げるものは「ジャンプの課題」と捉え、グループ内での学び合いを促していく。
- ・Reading for Communication の朗読や、自己表現活動の発表を「表現と共有」の場と捉え、本単元内に設定していく。

3 単元の目標と評価規準

観 点	コミュニケーションへの関心・意欲・態度	外国語表現の能力	外国語理解の能力	言語や文化についての知識・理解
目 標	・ペアやグループでの活動に積極的に取り組もうとする。	・場面や登場人物の心情が伝わるように朗読することができる。 ・わたしの町の紹介文を、既習の言語材料を活用し、構成を考えて書くことができる。	・場面の変化や登場人物の心情を読み取り、 retelling することができる。	・ There is [are]... を用いた文の構造を理解する。 ・動名詞を用いた文の構造を理解する。
評 価 規 準	・ペアやグループでの活動に積極的に取り組もうとする。	・場面や登場人物の心情が伝わるように朗読している。 ・わたしの町の紹介文を、既習の言語材料を活用し、構成を考えて書いている。	・場面の変化や登場人物の心情を読み取り、 retelling を正しく行っている。	・ There is [are]... を用いた文の構造を理解している ・動名詞を用いた文の構造を理解している

4 学習指導計画（全 12 時間 本時 11 / 12）

- (1) Unit 6 Starting Out (2 時間)
- ・本単元で身につける技能や理解する内容等の紹介／**There is [are]...**構文（肯定文）の理解と練習／クリスマスイブの情景の読み取り 1
 - ・**There is [are]...**構文（肯定文）の習熟のための活動 1
- (2) Unit 6 Dialog (2 時間)
- ・**There is [are]...**構文（疑問文と応答）の理解と練習／対話文の読み取り 1
 - ・**There is [are]...**構文（疑問文と応答）の習熟のための活動 1
- (3) Unit 6 Reading for Communication (3 時間)
- ・Silent Night 誕生秘話に関する物語の概要把握 1
 - ・物語の精読のための活動や **retelling** / 動名詞を用いた文の理解と練習 1
 - ・物語の朗読 1
- (4) Listening Plus 6 (1 時間)
- ・クリスマスコンサートの案内と、それに関する対話を聞き取る活動 1
- (5) Speaking Plus 4 (1 時間)
- ・街中の目的地までの道案内の練習と活動 1
- (6) Multi Plus 3 (3 時間)
- ・「わたしの町」の紹介文作成に関する表現のまとめや練習 1
 - ・「わたしの町」の紹介文作成 1 [本時]
 - ・「わたしの町」の紹介文の発表 1

5 本時の指導（11 / 12）

(1) 目 標

- ・外国の人によりアピールできるような盛岡市の紹介文を、既習の言語材料を活用し、文章の構成を考えて書くことができる

(2) 展 開

【既習の学習】			
<ul style="list-style-type: none"> モデルの構成に従った英文の書き方 町の紹介に有用な表現の用法 (We can see... / We call it... / Many people visit there to... / If・when・because... / I think (that)... / You should... / There is [are]... / People enjoy...) 教科書以外の、パンフレットや新聞記事など authentic な素材の読み取り 			
学習活動	学習内容	指導のための工夫	評価の視点・方法
Greeting	・英語で挨拶をする。		
1 Warm up	・Mini-Chat を行う。	<ul style="list-style-type: none"> 【協同】 ペア活動が滞っている場合は適宜支援する。 【表現】 相手の理解を確かめながら発表させる。 	<ul style="list-style-type: none"> [関・意・態] ペア活動に意欲的に参加しているか。(観察)
2 Review	・わたしの町の紹介文を発表する。		
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px auto; width: fit-content;"> ≪共有の課題≫ 町の紹介文をレベルアップするためのポイントを確認しよう </div>			
3 共有の課題の把握と追究	<ul style="list-style-type: none"> 提示された紹介文に、どんな文が加われば、より伝わりやすい文章になるか考える。 まとまりのある文章構成について考える。 	<ul style="list-style-type: none"> 【協同】 既習の言語材料を想起させ、グループ内での教え合いをつないでいく。 【協同】 構成の良い例・悪い例を紹介し、考えさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> [表現] より伝わりやすい文章構成を考えたか。(ワークシート)
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px auto; width: fit-content;"> ≪ジャンプの課題≫ 外国の人によりアピールできるような盛岡の紹介文を作ろう </div>			
4 ジャンプの課題の把握と追究	<ul style="list-style-type: none"> 盛岡市の紹介文を作成する。 グループ内で共有する。 	<ul style="list-style-type: none"> 【活動】【協同】 共有の課題を参考にさせながら、じっくりと考えさせ、紹介文を書かせる。 【協同】 グループ内で共有を十分にさせる。間違いを直せる場合は直させる。 	<ul style="list-style-type: none"> [表現] 構成を考えて複数の文を書いているか。(ワークシート)
5 ジャンプの課題の解決	<ul style="list-style-type: none"> 数名が発表する。 	<ul style="list-style-type: none"> 【表現と共有】 他の発表を聞き、内容を推測させる。 	<ul style="list-style-type: none"> [理解] 発表を聞いて内容を正しく理解しているか。(観察)
6 学習の振り返り	<ul style="list-style-type: none"> 自己評価を行い、学習シートに記入する。 	<ul style="list-style-type: none"> 自己評価させることで、自分の変化を見つめさせる。 	
Greeting	・英語で挨拶する。		
【次時や別単元での学習】			
<ul style="list-style-type: none"> 次時に盛岡市の紹介文の発表を行う。 Multi Plus 4 では My favorite thing というテーマでスピーチを行う。 			